

第17回 百間川ふれあいフェスティバルに参加しました。

4月27日(日)に岡山市中区東川原の百間川河川敷で開催された百間川ふれあいフェスティバルに岡山河川事務所からもパネル出展を行いました。当日は快晴のもと、約7,000人(主催者発表)の来場者がありました。

岡山河川事務所のブースでは、百間川ふれあいフェスティバルのテーマが「百間川で防災と献血を考える」であり、そのテーマにそった、東日本大震災の対応や、昨年夏に山口県北部を襲った豪雨による災害でのテックフォース活動、百間川の歴史、浸水想定区域等や、旭川、百間川の世界マップや散策地図等を展示しました。

来場された方々の中には、「河川の工事や百間川の役割についてもっとPRすべきだ」などのご意見や、「河川敷きの公園に行くまでの道が危険なのでどこに相談すればよいのか」等の質問や、浸水想定地図を見て「今の堤防は安全なのか?」「津波は心配ないか」等、質問される方もいらっしゃいました。

岡山河川事務所以外にも、自衛隊や岡山市消防局、岡山県古代吉備文化財センター、ESD(持続可能な開発のための教育)等の行政機関の展示ブースや、日本赤十字社による献血、フリーマーケット出店や吹奏楽、太鼓、踊りなど様々な発表もあり、フェスティバルは大盛況となりました。



会場内のイベントの様子



岡山河川事務所展示ブース



自衛隊の車両、パネル展示



岡山市消防局のヘリコプター訓練



岡山県古代吉備文化財センター



献血の案内